

# 翔

2006 February

No.178

百万石蝶談会



## 石川県輪島市での2005年の蝶の採集・観察記録から

日吉芳朗

## ■ツマグロヒョウモン

加賀・金沢方面では定着し普通種となった本種も、輪島市では今なお越冬できず、希種と考えられる。一時、かなりの数が観察された気勝山と高洲山には、その気配はなく、宝立山のみ、その名残をとどめているようである。9月10日と13日に採集した個体は、たいへん新鮮で、当地で発生した可能性もある。

2005年8月27日	輪島市深見町一乗	1♀	日吉南賀子
2005年9月10日	輪島市宝立山	1♀採集 1♂目撃	日吉芳朗
2005年9月13日	輪島市宝立山	1♀	日吉芳朗

## ■ミヤマセセリ

本種は、輪島市のかなり広い範囲に分布することが知られている。2005年も、以下の2地点で採集・目撃することができた。

2005年5月5日	輪島市美谷町	1♂採集 3頭目撃	日吉芳朗
2005年5月14日	輪島市八幡山	2♂採集 5頭目撃	日吉芳朗

## ■ミドリヒョウモン

7月18日の、ほぼ同じ時刻（10時と10時30分頃）に、鉢伏山で本種の交尾飛翔2例を目撃したが、飛翔形態は←♀+♂と←♂+♀であり、形式が異なるものであった。筆者の視界から消えるまでに、前者は2度、後者は3度葉上に静止したものの、交代飛翔はなかった。

2005年7月18日	輪島市鉢伏山	2♂2♀目撃	日吉芳朗
------------	--------	--------	------

## ■ゼフィルス

輪島市での2005年のゼフィルスは、これまでになく個体数が少ないように思われた。2004年には、三井町与呂見坂田で多数観察されたアカシジミ（日吉・他、2005）も、2005年は1頭も目撃できなかった。しかし、2004年には観察できなかったミズイロオナガシジミを採集・目撃することができた。

ミズイロオナガシジミ	2005年7月2日	輪島市深見町一乗	1頭採集1頭目撃	日吉芳朗
オオミドリシジミ	2005年7月3日	輪島市宝立山	7♂	日吉芳朗
エゾミドリシジミ	2005年7月3日	輪島市宝立山	2♂	日吉芳朗
ジョウザンミドリシジミ	2005年7月3日	輪島市宝立山	1♂2♀	日吉芳朗

## ■ウスバシロチョウ

別所谷町大久保、上黒川町、上山町での本種は、本年も健在であり、滝又町の滝又小学校横のごく狭い範囲で、採集・目撃することができた。この地での記録は、1989年の松井正人氏によるものが唯一のもので（松井、1989）、その後の追加記録がなかった。滝又町と同時に記録された近隣の空熊町（松井、1989）では、今回も見出すことができなかった。

2005年5月20日 輪島市滝又町 4♂1♀採集5頭目撃 日吉芳朗

## ■舳倉島での記録

9月30日、気温24~26℃、曇時々日が差す蒸し暑い日で、草原の枯れが目立ち、花はほとんど見られなかった。島のほぼ全域に、ヤマトシジミとヒメアカタテが多数みられ、モンキチョウとイチモンジセセリが、ちらほら目についた。キタテハ（秋型）1頭を北ブラの海岸で採集したものの、アカタテハ、ルリタテハ、モンシロチョウの姿を見ることはなかった。

イチモンジセセリ	2005年9月30日	輪島市舳倉島	数頭目撃	日吉芳朗
モンキチョウ	2005年9月30日	輪島市舳倉島	数頭目撃	日吉芳朗
ヒメアカタテハ	2005年9月30日	輪島市舳倉島	多数目撃	日吉芳朗
キタテハ	2005年9月30日	輪島市舳倉島	1♂	日吉芳朗
ヤマトシジミ	2005年9月30日	輪島市舳倉島	多数目撃	日吉芳朗

この7年間を振り返ってみるに、2005年ほど輪島市の自然環境の悪化を感じた年はなかった。そのいくつかを記すなら、雑木林を伐採しての杉林の造成の影響が現れ始めたことであり、また残されている雑木林や草原の手入れが、かつてのようになされることなく、荒れるにまかせた状況が目立つようになってきたことである。また、大規模工事による自然破壊も人々に気づかれぬままに進行しているのが気になる。このような、人為的な所作に加うるに、豪雨などの自然災害が追いつちをかけ、農道や林道の崩落が相次いだことも無視できないことであった。これらに、温暖化などのさまざまな要因が加わったのであろうが、蝶の減少が著しく、この状況が今後ますます加速されるなら、蝶にとって憂うべき事態になることが懸念される。

また、農道や林道の崩落などの災害は、調査ポイントへの出向の後退を招き、私共にとっても、憂うべき事態となっている。

## 《参考文献》

日吉芳朗・日吉南賀子(2005)石川県輪島市での2004年の蝶の採集・観察記録から. 翔(172):2-4.  
松井正人(1989)奥能登のウスバシロチョウ その2. 翔(78):2.

## 石川県で発生したムラサキツバメ

松 井 正 人

ムラサキツバメは、現在もっとも注目を浴びている種類で、地球温暖化との関わりからか、1998年頃から日本国内で顕著な北進が観察されている。三重県に於いては、1998年になって初めて発生が確認され（中西、1999）たが、2001年までには関東一円から福島県に至る各県で記録された（白水、2002）。関東地方の記録は、2002年、2003年とますます増加し、食樹のマテバシイさえあれば、発生地が見付かるとさえ言える状況（福田・白水、2004）になり、2004年には岐阜県揖斐郡池田町（神邊、2004）で、2005年には長野県長野市（浜栄一、私信）で記録されるに至っている。

石川県では、これまでに、能美市（旧能美郡根上町）で、1992年に1頭が記録された（富沢、1997）きりで、その後は観察されていなかったが、2005年7月に、白山市で1♀が記録されたことから、国内に於ける顕著な北進状況を踏まえ、県内での発生状況を調査した。



図-1. 1998年以降にムラサキツバメが観察されている都府県

2005年7月16日 石川県白山市明島町 1♀ 平松三吏（平松、2005）

（注：平松(2005)が報告した採集日の2005年7月18日は、2005年7月16日の誤り）

### ■調査概要と結果

調査は、まず本種の食樹となるマテバシイを探し出し、ひこばえや土用芽があれば、幼虫や卵、食痕の有無を調べた。石川県には、自然状態のマテバシイは無いので、植栽されたものを調査の対象とした。調査は、2005年7月21日から同年10月9日にかけて、能美市から羽咋市に至る範囲と、輪島市と珠洲市で行った。金沢市内の調査では、マテバシイが植えられている公園を、金沢市緑と花の課が管理する公園の中から教えていただき、調査の参考とした。

マテバシイは、公園や学校、病院、体育施設、街路樹などの公共施設に多く植栽され、工場や駐車場の周囲などにも植栽されていた。マテバシイは、調査箇所のおおよそ3箇所に1箇所の割合で見付かり、51箇所で確認した。そのうち、41箇所からひこばえや土用芽が観察でき、条件が良いと思われた場所は何度か調査を繰り返し、ムラサキツバメの発生を5箇所で観察することができた。

表-1. マテバシイ観察地とムラサキツバメ観察地

調査地	マテバシイ	ひこばえ・土用芽	ムラサキツバメ
1 能美市粟生工業団地生垣	多い	数本	
2 能美市辰口総合運動公園	数本	数本	
3 白山市松任グリーンパーク	1本	1本	
4 白山市大国町街路樹	多い	多い	卵、幼虫観察
5 白山市平加町手取公園	数本	数本	
6 石川郡野々市町中央公園	数本	数本	
7 金沢市みどり第2児童公園	数本	数本	
8 金沢市安原小学校	数本	数本	
9 金沢市安原中央公園横	3本	3本	
10 金沢市角間町	10本	数本	
11 金沢市八田町競馬場	多い	多い	
12 金沢市錦町民家生垣	3本	3本	
13 金沢市五郎島町	2本	なし	
14 金沢市広坂中央公園	2本	2本	
15 金沢市広坂石川県庁跡地	数本	なし	
16 金沢市四十万なかよし公園	数本	数本	
17 金沢市四十万園	多い	数本	
18 金沢市示野中青島公園	数本	1本	
19 金沢市若宮中央公園	多数	3本	
20 金沢市出羽町本多の森	数本	数本	
21 金沢市出雲中央公園	多い	多い	
22 金沢市諸江児童公園	数本	数本	
23 金沢市城北中央公園	多い	多い	
24 金沢市神田交通公園	数本	数本	
25 金沢市須崎公園	数本	なし	
26 金沢市桜町児童公園	数本	数本	
27 金沢市浅野本町下水処理場	多い	多い	幼虫観察
28 金沢市袋島町西部緑地公園	多い	多い	全ステージ観察
29 金沢市忠縄町北部公園	多い	数本	
30 金沢市長坂みはらし公園	数本	数本	
31 金沢市南新保町中央病院	数本	数本	
32 金沢市尾張町児童公園	数本	なし	
33 金沢市福久町街路樹	多い	多い	
34 金沢市法島町犀川緑地	多い	多い	幼虫観察
35 金沢市北四十万第2児童公園	1本	1本	
36 金沢市湊木材公園	数本	なし	
37 金沢市湊臨海水質管理センター	数本	数本	
38 金沢市無量寺公園	数本	なし	
39 河北郡津幡町井上の庄街路樹	数本	なし	
40 河北郡津幡町横浜中央公園	数本	数本	
41 河北郡内灘町アカシア交差点公園	数本	なし	
42 河北郡内灘町内灘総合公園	2本	1本	
43 河北郡内灘町内灘霊園	多い	数本	
44 かほく市宇ノ気郵便局	数本	数本	
45 かほく市遠塚中央公園	数本	なし	
46 羽咋郡宝達志水町押水総合運動公園	多い	多い	
47 羽咋市千里浜町街路樹	多い	多い	幼虫、蛹観察
48 羽咋市柳田ファミリーランド	多い	数本	
49 輪島市河井町輪島高校	1本	なし	
50 珠洲市野々江町ゆとりパーク	数本	数本	
51 珠洲市野々江町市営グラウンド	多い	多い	

## ■ムラサキツバメの発生地

### 1. 白山市鶴来大国町の街路樹及び

#### 白山郷運動公園

白山市明島町から鶴来大国町にかけての道路約1500mの両側、この道の途中から踏み切りを渡り鶴来警察署に至る道路約500mの両側、及びこの二つの道の交差点の東側にある白山郷運動公園には、マテバシイが植栽され、土用芽や根際からのひこばえが多かった。街路樹では、もっぱらひこばえから卵、及び初齢から3齢の幼虫を観察し、天狗橋交差点付近に多った。しかし、白山郷運動公園方向に向かうに従って少なくなり、同運動公園から明島町にかけてと、同運動公園から鶴来警察署にかけての街路樹からは発見できなかった。同運動公園では、天狗橋交差点に最も近い場所の土用芽から、卵及び初齢と2齢幼虫を観察した。

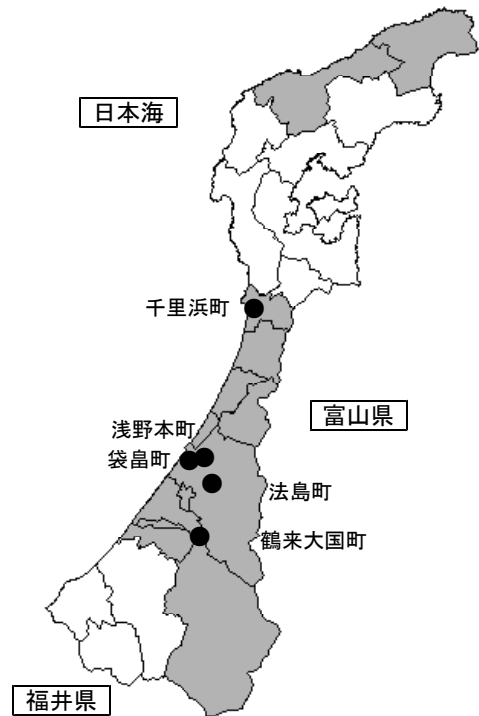


図-2. ムラサキツバメの調査市町とムラサキツバメの観察地

2005年8月6日 白山市鶴来大国町 卵幼虫多数目撃 松井正人

### 2. 金沢市法島町犀川緑地

金沢市中心部を流れる犀川の河川敷には、いくつも緑地が作られ、西大桑町と城南をつなぐ犀川雪見橋周辺の左岸には、いろいろな樹が植えられている。法島町の県立児童会館から西大桑町にかけての約1200mには、マテバシイが植栽され、児童会館近くの一箇所から本種の2齢3齢幼虫と孵化殻を観察した。

2005年8月11日 金沢市法島町犀川緑地 3幼目撃 松井正人

### 3. 金沢市袋島町西部緑地公園

金沢市中心部を流れる犀川と北陸自動車道が交差する辺りに、西部緑地公園がある。袋島町、稚日野町、北塚町、古府町の住宅地に囲まれた広さ50ha程の公園で、至る所にマテバシイが植栽されている。ほとんどのマテバシイから土用芽もひこばえも観察できなかったが、一部のマテバシイは強く剪定されており、葉のほとんどが新葉で、おびただしい本種食害の後が観察された。1回目の調査では、卵や幼虫は観察できなかったが、薄暗い林床に静止する1♀と、マテバシイの根際から蛹と前蛹を観察した。

おびただしい食痕から、ここへは、何度か調査に入った。

写真-1.  
駐車場と広場に囲ま  
れた緑地の一角で見  
つかった発生地  
(袋島町)



写真-2.  
マテバシイの根際に  
積み重なった落ち葉  
の中から見つけた  
前蛹と蛹(袋島町)



写真-3.  
全ての樹から幼虫が  
見付かった、強く剪定  
されたマテバシイの  
街路樹(千里浜町)



2005年8月13日	金沢市袋島町西部緑地公園	1♀1前蛹5蛹採集	松井正人
2005年8月14日	金沢市袋島町西部緑地公園	5♂5♀採集多数目撃	浅地哲也
2005年8月16日	金沢市袋島町西部緑地公園	数卵目撃	松井正人
2005年8月20日	金沢市袋島町西部緑地公園	若齢幼虫多数目撃	松井正人

#### 4. 金沢市浅野本町下水処理場

金沢市中心部を流れる浅野川とJR北陸本線が交差する辺りに、下水処理場があり、施設内の五箇所にてマテバシイが植栽され、二箇所から2齢と3齢幼虫を観察した。

2005年8月13日 金沢市浅野本町下水処理場 3幼採集 松井正人

#### 5. 羽咋市千里浜町の街路樹

有料の能登海浜道路を千里浜インターで降り、国道249号に向かって進むと、県営アパートを過ぎた辺りから、道路の両側にマテバシイが植栽されている。道路の片側だけが剪定され、剪定された側の全てのマテバシイから、多数の初齢～3齢幼虫を観察したが、剪定されていない方からは、観察できなかった。

2005年9月4日 羽咋市千里浜町 幼虫多数目撃 松井正人

2005年9月29日 羽咋市千里浜町 8蛹採集 松井正人

#### ■幼虫にまとわりつくアリ

いずれの観察地でも、幼虫や蛹の周りにはアリがいたので、幼虫や蛹に触れているアリを採集し、同定を依頼したところ、6種のアリが確認された。

2005年8月13日 金沢市浅野本町下水処理場（幼虫に触れていたアリ）

ハリブトシリアゲアリ

2005年8月20日 金沢市袋島町西部緑地公園（幼虫に触れていたアリ）

アミメアリ、コヌカアリ

2005年9月4日 羽咋市千里浜（幼虫に触れていたアリ）

トビイロシワアリ、ハリブトシリアゲアリ、ウメマツオオアリ、クロオオアリ

2005年9月29日 羽咋市千里浜（蛹に触れていたアリ）

アミメアリ

#### ■発生状況と侵入時期

この調査では、石川県の12市町（能美郡川北町ではマテバシイは見付かっていない）で植栽されたマテバシイを調査し、ムラサキツバメが発生できるひこばえもしくは土用芽を41箇所を観察し、金沢市を中心とした3市から5箇所の発生地が見付かった。また、三上（2005）は、白山市明島町と白山市安養寺町の発生地を報告している。





写真-4. 車が走る直ぐ横のひこばえで見つかった中齢幼虫の巣(千里浜町)

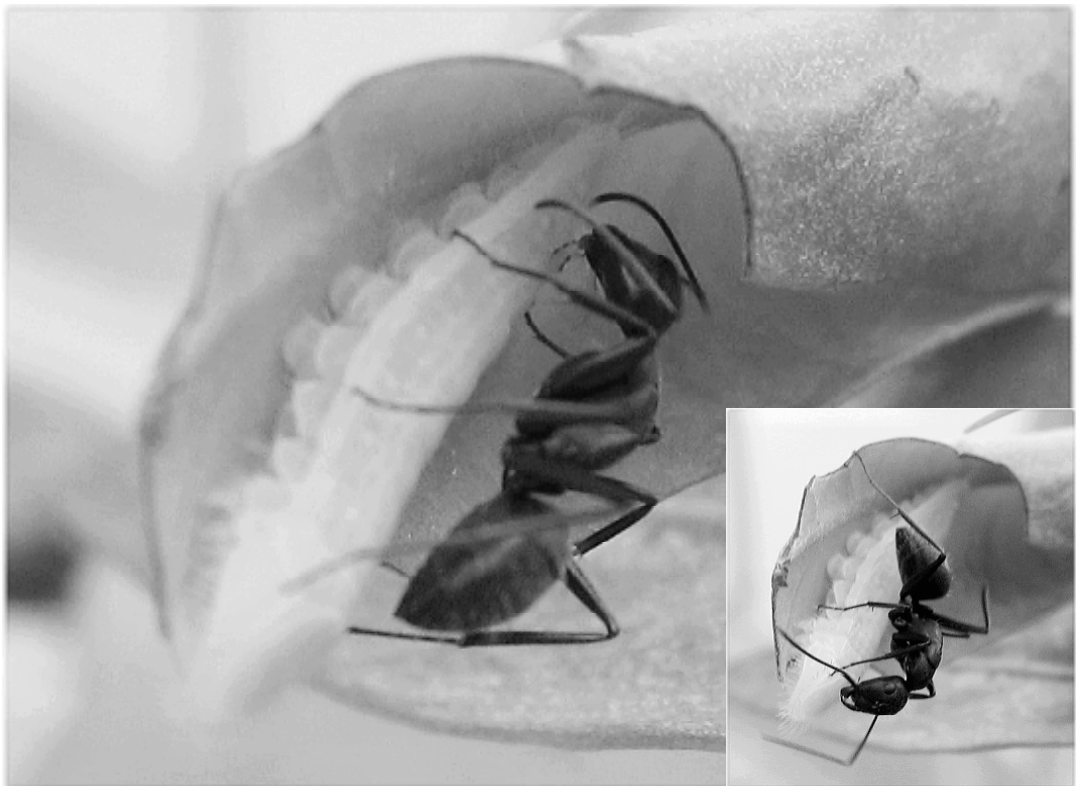


写真-5. めまぐるしく体を入れ替えながら終齢幼虫のお尻をなめるアリ(千里浜町)

2005年7月28日 白山市明島町 3歳前後の幼虫約50頭観察 三上秀彦  
2005年8月19日 白山市安養寺町 若齢幼虫2頭 三上秀彦

白山市明島町と大国町の発生地は、接しているので同一の発生地と考えることができ、安養寺町の発生地を加えると、2005年には石川県内の12市町で6箇所の発生地が見付かったことになる。この6箇所の発生地は、白山市大国町、金沢市袋島町、羽咋市千里浜町の大発生地と、白山市安養寺町、金沢市浅野本町、金沢市法島町の数頭しか観察されなかった小発生地だった。

ここで、ムラサキツバメが初飛来して産卵した場所は小発生地、同じ場所で2回以上発生を繰り返すと大発生地になると考えられないだろうか。もしそうであれば、白山市大国町と金沢市袋島町では、5月上旬に小発生となる産卵があり、7月上旬に大発生となる産卵があったと考えられる。5月上旬の産卵は、越冬母蝶による産卵と思われ、白山市大国町と金沢市袋島町の位置関係や、およそ14km離れていることなどを考えると、1頭の母蝶からではなく、2頭以上の母蝶からの産卵が考えられる。2頭以上の越冬母蝶の存在は、2004年に県内での発生があり、2004年から2005年にかけて越冬が行われた可能性がある。それ以前からの発生や越冬も考えられるが、発生可能な場所が41箇所あり、その内の6箇所での発生は、県内で発生がごく最近始まったことを思わせる。

## ■謝 辞

この報告にあたり、多大なご協力と千里浜町の発生地発見の手がかりをいただいた浅地哲也氏、アリの同定でお世話になった大河原恭祐氏、ムラサキツバメ採集の第1報をいただいた富沢 章氏、マテバシイの植栽場所をお教えいただいた三坂岳応氏、金沢市内のマテバシイが植えられている公園をお教えいただいた金沢市緑と花の課の方々、調査にご協力いただいた浅野直樹、日吉芳朗、細沼 宏、生田省悟、大脇 淳、澤田 博の各氏、これらの皆様に厚くお礼申し上げます。

## 《 参考文献 》

- 福田晴夫・白水 隆 (2004) 2003年の昆虫界をふりかえって (蝶界). 月刊むし(399):2-12.  
平松新一 (2005) 石川県におけるムラサキツバメの採集報告. とっくりばち (73):32.  
神邊明佳 (2004) 岐阜県でムラサキツバメを採集. 蝶研フィールド(221):30.  
三上秀彦 (2005) 旧鶴来町で発生したムラサキツバメの追跡調査. とっくりばち (73):11-12.  
中西元男 (1999) 紀伊半島東岸を北上しつつある蝶・2. 蝶研フィールド(158):8-10.  
白水 隆 (2002) 2001年の昆虫界をふりかえって (蝶界). 月刊むし(375):2-13.  
富沢 章 (1997) 国分五男氏の採集記録から. 翔(124):1.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 再び住宅地の孤立林でウラキンシジミを観察

大 脇 淳

石川県では、狙って採集することが比較的難しいと思われるウラキンシジミを、2004年に続き2005年も金沢市若松町において観察したので報告する。

2005年6月22日 石川県金沢市若松町若松病院 1♂1♀目撃 大脇 淳

筆者は、2004年に若松病院の敷地内にある0.4ha程度の小さな森で、ウラキンシジミを観察し報告した（大脇、2004）が、その時は、どこからか迷ってきた可能性も捨て切れなかった。しかし2年連続で、しかも2005年は2個体を観察したことで、ウラキンシジミはこの小さな森で発生しているものと確信している。なお、この森は住宅地に囲まれた病院の敷地内にあり、庭園として管理されているため、ここでの採集は控えていただきたい。

また、2004年の報告では筆者の未熟な知識のために、若松病院に生えているアオダモ類をマルバアオダモと書いたが、ヤマトアオダモの間違いであったことを、お詫びするとともに訂正する次第である。

末筆ながら、本報告を書くように勧めて下さった松井正人氏に深く感謝する。

《参考文献》

大脇 淳 (2004) 住宅地の孤立林でエゾミドリシジミとウラキンシジミを観察. 翔(169):5.

## 2005年度収支報告

会計年度は1月1日から12月31日

収 入		支 出	
項 目	金額 (円)	項 目	金額 (円)
2005年度会費	94,000	会誌作成費	81,900
当該年度以外会費	16,000	例会費	14,000
会誌売上金	23,100	自然史系団体協議会会費	3,000
郵送負担金	18,500	郵送費	31,150
前年度繰越金	262,588	消耗品費	5,471
		次年度繰越金	278,667
計	414,188	計	414,188

※ 年会費は2,000円、郵送負担金は500円

## 会員の動き・しゃばの動き

### ■クマゼミの抜殻

金沢市の「セミの抜殻あつめ」でクマゼミの抜殻が見つかった。石川県初の記録となるが、この抜殻の主は、同じ場所で産卵されたのだろうか。大きく育った幼虫が、植木と一緒に金沢に持ち込まれた可能性もあり、採れた場所が気になる。

### ■でかいセミの正体は

細沼氏が西表で、でかいセミを採集してきた。これが世界一大きいテイオウゼミと同じ属のタイワンヒグラシだと分かったが、採集品は♀だったので、最初はミンミンゼミの仲間かと思っていた。

### ■12月13日から大雪

暖冬の影響からか、オオムラサキやクロコムラサキの越冬幼虫が見つからないまま12月に入った。越冬に入っていなかったと思われるが、一転して大雪となり、越冬に間に合ったのだろうか。

### ■ムラサキツバメの行方は

昨年、石川県各地で発生したムラサキツバメは、県内各地で越冬していると思われるが、12月の積雪が48センチとなり、観測史上5番目と言われる大雪に耐えられるのだろうか。

### ■手取川の左右で異なるトゲナナ個体群

金沢市の卯辰山で見られるトゲナナフシには、斑紋はない。これを見慣れていたので、能美市や小松市の斑紋個体が、かっこよく見えた。しかし、図鑑などを見ると、みんな足の付け根に斑紋があるので、無紋個体の方が珍しいのかもしれない。

### ■甲虫3000種を達成

徳本氏と高羽氏のかけ声で、「甲虫三千種への道」がスタートしたのは、1993年。当時の記録種数は2244種で、その差は756種だった。1998年の「石川県の昆虫」には、2732種を掲載し、その差は268種になっていた。そして2005年、石川県産甲虫記録種が、ついに3000種に達した。

### ■蛾類は2300種を突破

1995年に2062種の目録が作られ、1998年の「石川県の昆虫」には、2128種が掲載された。その後も、年間20種を越す初記録を出し続け、2005年末には2300種を突破した。石川県の蛾屋は1人、2300種もすごいが、20種を越す初記録を出し続けるのも、これまたすごい。

### ■腰痛に悩む

日吉芳朗氏、寒さと共に持病の腰痛が痛み出し、標本の整理がままならない。この調子だと、3月の沖縄行もまぼろしとなるかもしれない、せっかくの格安チケットがフイになるかも。

### ■アサギマダラ年鑑2003

ようやく年鑑2003が、印刷された。近年、マーキングが盛んになり、マーキング数、再捕獲数、ともに大きく増えていることから、まとめるのもさぞかし大変だったと思われる。2003年のマーキング数は約8万頭、再捕獲は100kmを越えるものでも460件が記録されている。この年鑑には、これまでの年鑑分も含めて、内容のデジタルデータが付録として付いている。

■アサギマダラ年鑑2000は発行中止

2001、2002と発行されたにもかかわらず、未だに発行されていなかった年鑑2000は、発行中止になった。しかし、その一部は年鑑2003の付録に掲載されている。

■表紙がカラーになった

翔の表紙が今号から全面カラーになった。表紙デザインを担当していた小幡氏の悲願で、カラー化と共に氏のデザインが1年ぶりに復活した。次号以降の掲載作品は決まっていないので、写真やイラストの掲載を希望する会員は、氏まで作品を送ってほしい。デジタルデータならTIFFかJPG、フィルムならポジでお願いしたい。

■ 例会の記録 ■

12月8日(木)城南管工1階にて、午後8時から開催。

今回は、石川県のトゲナナフシについて、最新情報を松井氏が報告。県内のトゲナナ

フシは、金沢市でしか観察されていなかったが、調査の工夫で、能美市、小松市、加賀市で観察することができ、金沢市は無紋タイプ、金沢市以外は有紋タイプだった。調査方法は、翔177号を参照されたい。

また、年末例会のためか、生虫や標本の持ち込みが多く、子供に大人気のヘラクレスや大型クワガタ各種、一部の大人に人気のヒメカマキリやトゲナナフシ、八重山のセミ標本に歓声が沸いていた。

その他の話題は、暖冬でオオムラサキの越冬幼虫が見つからない、クロコムラはまだ越冬していない、ミヤマアカネは犀川で発生しているか、石川県のチビクワガタ、ヒメカマキリが12月に産卵、初冬の溝掃除でいろいろ発見、などなど。

参加は、浅地、吉岡、中西、松井、浅野、井村、富沢、山岸、竹谷の9人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

日吉芳朗：石川県輪島市での2005年の蝶の採集・観察記録から	1
松井正人：石川県で発生したムラサキツバメ	3
大脇 淳：再び住宅地の孤立林でウラキンシジミを観察	10
編集部：会員の動き・しゃばの動き	11

翔 178号

Tobu 2006年 2月10日発行  
百万石蝶談会

http://homepage3.nifty.com/100man/  
金沢市大場町東871-15 松井方  
☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から  
TEL参加もOKです(076-244-3318)

